



令和3年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和3年2月10日

上場会社名 イワブチ株式会社
コード番号 5983 URL <https://www.iwabuchi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 秀吾

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 遠藤 雅道

TEL 047-368-2222(代)

四半期報告書提出予定日 令和3年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期第3四半期の連結業績(令和2年4月1日～令和2年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第3四半期	7,237	1.3	339	0.1	415	3.2	292	48.5
2年3月期第3四半期	7,331	0.2	339	352.6	429	152.0	568	479.2

(注) 包括利益 3年3月期第3四半期 354百万円 (41.5%) 2年3月期第3四半期 607百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第3四半期	272.56	
2年3月期第3四半期	529.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年3月期第3四半期	19,674	16,103	81.4
2年3月期	19,799	15,964	80.2

(参考) 自己資本 3年3月期第3四半期 16,014百万円 2年3月期 15,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期		100.00		100.00	200.00
3年3月期		100.00			
3年3月期(予想)				100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,819	0.8	419	7.8	505	13.4	348	49.0	323.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

3年3月期3Q	1,100,000 株	2年3月期	1,100,000 株
3年3月期3Q	25,867 株	2年3月期	25,750 株
3年3月期3Q	1,074,212 株	2年3月期3Q	1,074,287 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から「ニューノーマル」と言われる新たな「常態」へ徐々にシフトしております。感染拡大は「第3波」が続いており、設備投資や個人消費は依然不透明な状況にあります。

当社グループの主要需要であります電力業界においては、送配電部門の分社化を背景に、更なる経営合理化の推進による設備投資の抑制やコスト削減要請が続いており、厳しい受注環境となりました。一方、通信業界においては、総務省が推進するデジタル化に対応した社会環境整備、「ICTインフラ地域展開マスタープラン2.0」が策定され、光ファイバー網ならびに5G基地局の整備が加速することが期待されます。

このような状況のなか、当社グループは、環境に配慮した製品の開発・販売をはじめ、グループ会社とのシナジーにより海外インフラに関連した資機材を受注するなど、新ビジネスの展開を積極的に進めるとともに、事業活動のプロセス改革・業務改善活動の推進ならびに経営資源の効率化を進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,237百万円と前年同期に比べ93百万円、1.3%の減収となりました。営業利益は339百万円と前年同期並み、経常利益は415百万円と前年同期に比べ13百万円、3.2%の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については292百万円と、特別利益を計上した前年同期と比べ275百万円、48.5%の減益となりました。

新型コロナウイルスによる業績への影響については、当社グループに関連した電力、通信業界などは現時点で大きな影響は出ておりません。しかしながら、工事設計の遅れや入札業務の遅れなどの情報もあり、今後も状況を注視してまいります。

セグメントに代わる需要分野別の業績は、次のとおりです。

① 交通信号・標識・学校体育施設関連

学校体育施設関連は、防球ネット関連の新製品投入などにより全国的に堅調に推移しました。交通信号、標識関連についても、入札の遅れが解消され、工事が順調に実施されたことから堅調に推移しました。その結果、売上高は860百万円と前年同期並みとなりました。

② C A T V ・ 防 災 無 線 関 連

防災無線関連は、デジタル化への更新工事や補改修工事が全国的に実施されたことから、好調に推移しました。一方、C A T V 関連は、前年同期に比べ小規模・補修工事が多く低調に推移しました。その結果、売上高は867百万円と前年同期に比べ127百万円、12.8%の減収となりました。

③ 情報通信関連

情報通信関連は、光伝送路工事が好調に推移しました。また、5Gに関連した移動体基地局用製品など顧客ニーズに即した新製品を積極的に投入しました。その結果、売上高は1,549百万円と前年同期に比べ100百万円、7.0%の増収となりました。

④ 配電線路関連

配電線路関連は、積極的な営業活動を実施してまいりましたが、電力会社による経営基盤強化に向けた調達価格の見直しなどにより、厳しい受注環境となりました。その結果、売上高は2,548百万円と前年同期に比べ62百万円、2.4%の減収となりました。

⑤ その他

鉄道関連は、安全対策関連工事が堅調に推移しました。一般民需、公共工事関連では、工事の中止・延期などがあったものの、街路灯・防犯灯LED化を中心としたセキュリティ関連工事が堅調に推移しました。その結果、売上高は1,412百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ124百万円減少し、19,674百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ84百万円減少し、12,498百万円となりました。これは、主に商品及び製品が127百万円、電子記録債権が70百万円増加したことと、現金及び預金が341百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、7,176百万円となりました。これは、主に有形固定資産が58百万円減少したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ264百万円減少し、3,570百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が149百万円増加したことと、未払法人税等が240百万円、賞与引当金が123百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ139百万円増加し、16,103百万円となりました。これは、主に利益剰余金が77百万円、その他有価証券評価差額金が41百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年3月期の業績予想につきましては、令和2年5月18日に公表しました「令和2年3月期決算短信」における業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,248,415	6,907,337
受取手形及び売掛金	2,326,593	2,366,525
電子記録債権	757,034	827,313
商品及び製品	1,794,936	1,922,383
仕掛品	146,983	145,022
原材料及び貯蔵品	227,768	240,957
その他	92,327	99,452
貸倒引当金	△11,064	△10,659
流動資産合計	12,582,995	12,498,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,698,230	1,636,354
土地	3,273,547	3,273,547
その他（純額）	652,577	655,689
有形固定資産合計	5,624,355	5,565,591
無形固定資産	101,321	88,363
投資その他の資産		
投資有価証券	1,098,296	1,146,467
その他	412,750	392,137
貸倒引当金	△20,350	△16,253
投資その他の資産合計	1,490,697	1,522,351
固定資産合計	7,216,374	7,176,306
資産合計	19,799,370	19,674,639

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,508,786	1,658,643
短期借入金	167,475	135,434
未払法人税等	243,782	3,314
賞与引当金	235,742	112,314
その他	360,367	367,060
流動負債合計	2,516,155	2,276,767
固定負債		
長期借入金	340,206	281,444
役員退職慰労引当金	379,659	403,278
退職給付に係る負債	433,440	450,025
その他	165,378	159,268
固定負債合計	1,318,684	1,294,016
負債合計	3,834,840	3,570,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,496,950	1,496,950
資本剰余金	1,231,962	1,231,962
利益剰余金	12,949,199	13,027,142
自己株式	△150,299	△150,986
株主資本合計	15,527,812	15,605,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	300,136	341,641
為替換算調整勘定	45,670	67,457
その他の包括利益累計額合計	345,806	409,099
非支配株主持分	90,910	89,687
純資産合計	15,964,529	16,103,855
負債純資産合計	19,799,370	19,674,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
売上高	7,331,199	7,237,897
売上原価	5,196,172	5,115,422
売上総利益	2,135,027	2,122,474
販売費及び一般管理費	1,795,411	1,782,496
営業利益	339,616	339,978
営業外収益		
受取利息	487	465
受取配当金	40,118	36,431
受取賃貸料	32,948	32,545
受取保険金	-	12,893
貸倒引当金戻入額	5,411	4,501
為替差益	8,866	-
その他	8,148	6,156
営業外収益合計	95,980	92,995
営業外費用		
支払利息	3,274	2,632
為替差損	-	8,630
持分法による投資損失	2,443	6,164
その他	699	15
営業外費用合計	6,416	17,442
経常利益	429,179	415,530
特別利益		
固定資産売却益	326,469	309
投資有価証券売却益	26,053	205
受取保険金	2,555	-
特別利益合計	355,078	515
特別損失		
固定資産除売却損	615	5,504
特別損失合計	615	5,504
税金等調整前四半期純利益	783,642	410,541
法人税等	213,723	118,974
四半期純利益	569,918	291,566
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,437	△1,222
親会社株主に帰属する四半期純利益	568,480	292,789

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
四半期純利益	569,918	291,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,644	41,504
為替換算調整勘定	△28,517	21,787
その他の包括利益合計	37,127	63,292
四半期包括利益	607,045	354,859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	605,608	356,081
非支配株主に係る四半期包括利益	1,437	△1,222

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。